

たいわ 町議会だより



全国大会上位をめざして
(大和町消防団夏季演習)

6月定例会の主な内容	2~4ページ
早期の目標設定で学力向上を図れほか一般質問者12人	5~17ページ
平成24年度政務調査費の報告	18ページ
なじよになったのあの提言は 視察・研修レポート	19~21ページ

大和町

笹倉山から望む もみじヶ丘・杜の丘地区

(会期 6月11日～14日)

6月定例会

内 容

条例の改正や補正予算、人事案件などを慎重に審議し、一般質問は12人の議員が町の対応や考えを問いました。

6月定例会の審議内容

条 例	結 果	賛：反	平成 24 年度専決処分	結 果	賛：反
臨時職員の任期延長	可決	17：0	税条例の一部改正	承認	17：0
災害弔慰金の支給条例一部改正	可決	17：0	都市計画税条例の一部改正	承認	17：0
平成 25 年度補正予算	結 果	賛：反	国民健康保険税条例の一部改正	承認	17：0
一般会計補正	可決	17：0	一般会計補正	承認	17：0
宮床財産区特別会計補正	可決	17：0	国民健康保険事業勘定特別会計補正	承認	17：0
落合財産区特別会計補正	可決	17：0	介護保険事業勘定特別会計補正	承認	17：0
下水道事業特別会計補正	可決	17：0			

※補正予算の概要は4ページに記載しています。

小野小学校

躍進する

6月定例会で可決された人事
人権擁護委員

【審議結果】適任（賛成17 反対0）

再任 菊地 敬 氏（67歳）

落合報恩寺字上ノ山

人権相談や人権思想の普及・啓発などを行います。

選挙管理委員

【審議結果】指名推薦（賛成17 反対0）

任期満了を迎える委員の選挙を行い、次の委員が当選しました。補充員は、委員に欠員が生じた場合、順位にしたがい繰り上がります。

【委員】

菅原 隆 氏（76歳） 小野字堂ノ前

只木 茂子 氏（68歳） 落合松坂字柿ノ木

高橋 榮次 氏（71歳） 吉岡字館下

碓井 忠郎 氏（69歳） 吉田字上童子沢

【補充員】

1位

荒木 淳子 氏（53歳） 鶴巢大平字櫛崎

2位

高橋えく子 氏（63歳） 吉岡南二丁目

3位

伊藤登美子 氏（75歳） 吉田字田ノ神

4位

渋谷 久一 氏（63歳） 落合相川字熊野

補正予算の 概要

総務費



もみじヶ丘・杜の丘地区の
(仮称)南部コミセン設置の調査費

546万円

農林費



東日本大震災農業生産対策事業による
ライスセンタ建設事業補助金

7686万円

民生費



もみじヶ丘保育所増築工事費

3710万円

教育費



学力向上のための学び支援
コーディネータ配置など他1件

546万円

衛生費



麻しん・風しん混合ワクチン助成費

200万円

※補正予算とは、当初予算成立後に発生した事由によって当初予算通りの執行が困難になった時に、本予算の内容を変更するよう組まれた予算のことです。

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

町政を問う

12人の議員が町長と教育長に質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

1人60分の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

質問者

質問者	質問事項	ページ
千坂 裕春	1. 早期の目標設定で学力向上を 2. 女性職員の職場環境は万全か 3. 生活保護受給者への指導は	6
堀籠日出子	1. 風しんワクチン接種に助成を 2. フッ素うがいで虫歯予防 3. 公園トイレの整備について	7
浅野 俊彦	1. 総合運動公園グラウンドの整備を 2. 登山口にトイレ設置を 3. SNSで町民の行政参加を	8
槻田 雅之	1. 夏休み中の児童館体制は	9
伊藤 勝	1. 本人通知制度の導入を 2. 高齢者守るキーホルダー	10
今野 善行	1. 仮称・南部コミセン設置促進を 2. いじめ問題の対応方策は	11
松浦 隆夫	1. 武道館周辺に駐車場を	12
渡辺 良雄	1. 県外自治体と連携強化を	13
高平 聡雄	1. コストの削減に民間活用を 2. 無線ネットワークの構築を	14
藤巻 博史	1. メディカルメガバンク対応は 2. 米軍演習の安全対策は	15
松川 利充	1. 教育委員会制度の現状は	16
平渡 高志	1. 大規模災害の応援協定を進めよ	17

※議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。



議員 春 裕 坂 千

早期の目標設定を

教育長 大切なことと思う

議員 高校入試は、早期に目標を定め、準備させては、
教育長 前期日程は、1・2年と3年の12月までの成績を選考の対象とする学校がある。各学年での計画的な進路指導を行う体制を整える。目標を設定することは日々の努力の励みになり大切と思う。
議員 努力すれば、どんな夢でも叶えることができることを指導すべきでは。
教育長 県は「みやぎの志教育」の推進をあげ「人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、よりよい生き方を主体的に探求する」ことを促す教育を進めている。どのような教育を行えば、夢をもたせ、志を高めていけるか検討し実践している。



夢は大きく

女性職員の職場環境は万全か

町長 働きやすい環境の整備に努める

議員 職員のセクハラ・ストーカー・付きまといの報告はあるのか。
町長 報告は受けていない。報告があった場合、懲戒処分の対象となり、調査を行い、毅然とした対応をする。
議員 相談・報告できる窓口はあるのか。
議員 相談・報告できる窓口はあるのか。
町長 各課の課長などに相談することを基本とし、人事評価の個人面談時に相談体制を取っている。また、町長や副町長などへメールで相談できる体制を整えている。
議員 課長は専門の研修を受けているのか。

生活保護の指導は

町長 法の趣旨を説明

議員 兵庫県小野市で生活保護受給者のパチンコや遊興費を禁止する条例が制定された。本町の対象者に対する指導は。
町長 生活保護の決定機関は、仙台保健事務所です。本町は、仙台保健事務所として要保護者の発見、被保護者の変動状況の報告、要保護者に関する調査を行っている。定期的な家庭訪問、現金支給者には支給時に不適切な消費に関し、聴取を行い、法の趣旨の説明を行っている。

町長 特に受けていない。

議員 相談・報告をした職員の保護は。
町長 事実確認を行い、本人に危害が及ぶ恐れがある時は、警察署と連絡をとり、安全確保を図る。女性職員に限らず、職員が働きやすい職場環境の整備に努める。

議員 課長は専門の研修を受けているのか。

ワクチン接種に助成を

町長 助成する

議員 20代から40代を中心に風しん感染が拡大しており、妊婦が感染すると、先天性風しん症候群という障がい児が生まれるリスクが高くなる。風しんワクチン接種に助成し感染予防に取り組んでどうか。

期間は、平成25年4月1日から平成26年3月31日まで。助成額は上限1万円とする。

一口メモ

風しんとは
ウイルス感染症の一種。一般に日本では三日はしかとしても知られている。



町長 妊婦と胎児を守る観点からワクチン接種は重要と考える。条件を定め実施。
議員 対象者および実施時期と助成額は。
町長 19歳から49歳までの妊娠予定者。または、希望する女性とその配偶者および妊婦の配偶者。



議員

こでひ
日出日

ごめ
籠

ほり
堀

一般質問

フッ素うがいで虫歯予防 教育長 保護者の理解が必要



歯を大切に

議員 学校検診で最も多いのが虫歯である。給食後に歯磨きとフッ素うがいで虫歯予防と虫歯の抑制効果があるとのデータがでている。児童生徒の虫歯のり患状況は。

教育長 小学生612人で39%、中学生は337人で46%が虫歯と診断されており、治療を行ったのは半数にとどまる。
議員 予防の取り組みとフッ素うがいは。

障がい者に優しい 公園トイレを

町長 状況を把握し対応

議員 南川ダム周辺は年間25万人前後の利用者がある。しかし、周辺トイレは段差があり車イスでの利用が困難である。整備が必要ではないか。
町長 障がい者用トイレのない公園は利用状況を把握し対応する。

教育長 学級活動時間に虫歯の仕組み、正しい歯磨きなどの指導を行っている。フッ素うがいは、保護者の理解が必要であり、今後の研究課題とする。

総合グラウンドの整備を

町長 整備計画を検討する



あさの 議員
ひこ彦 議員
とし俊 議員
の野

議員 総合運動公園グラウンドで想定している競技は、

町長 少年野球やソフトボールを想定しており、昨年は少年野球やソフトボール、グラウンドゴルフなどの大会で9670人が利用している。

議員 グラウンド利用者増加は必要か。

町長 スポーツは、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し絆を深め、健康増進、青少年の健全育成、人格形成に効果が期待され、増加を期待する。

議員 デコボコがあり、柵も照明もなく危険との指摘もある。長期的な整備計画の立案、実行が利用者増加の方策と考えるが。

町長 整備計画の必要性を含め、検討していく。

SNSで町民の行政参加を

町長 種々研究していきたい

議員 ツイッタ導入の成果と今後の課題は。

町長 震災時の回線故障により、ホームページに代わる情報提供の手段に導入し、現在は災害情報やイベント、観光情報を掲載している。課題は利用者が一部である事、古い情報が最新情報のように流れ



笹倉山の山開き

てしまう事など整理が必要と考える。

議員 利点は一方からの情報提供ではなく、双方向でコミュニケーションできる点であり、ふれあい懇談会以上に住民ニーズを把握し、町民の行政参加を促す有効な手段と考えるが。

登山口にトイレ設置を

町長 施設整備と合わせ研究

議員 本町の観光資源は。

町長 セツ森をはじめ、館跡や遺跡、原阿佐緒記念館や旧宮床伊達住宅の他、受け継がれる文化財や伝統芸能などがある。

議員 信楽寺前や笹倉山の駐車場は登山客の車でにぎわっている。登山客からトイレと手洗い場設置の声が多いが。

町長 既存施設の環境整備と合わせ、研究する。

10X10

SNSとは
ソーシャル・ネットワークキングサービスの略称で、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのこと。



町長 米国の事例でゴミの不法投棄の発見監視、被害状況の把握、救命活動に活用する事例もあり、日本では千葉市が準備を進めている。

議員 導入検討すべきでは。

町長 今後、行政への町民参加の手段や方法を種々研究していきたい。

夏休み中の児童館体制は

町長 8人体制で対応する

議員 もみじヶ丘・杜の丘

のような新興住宅地では共稼ぎ世帯が増えており、大半が核家族のため児童館を利用する世帯が多くなっている。

児童クラブ・臨時預かり、自由来館の形態で子どもが児童館を利用して

いる。夏休みは平常時より利用人数が増えると思われる。

夏休み期間中の児童館の体制は万全か。

町長 もみじヶ丘児童館の

放課後児童クラブ受入定員は70人。申込者の増加に対応して、小野小学校に分室

を開設して受け入れてきた。

昨年8月の実績が一日平均62人、児童クラブに限れば35人である。

地域児童数は増加が見込まれるが、対応可能な人数である。スタッフは館長を含めて6人に加え、夏休み期間中は学習支援員2人が午前から児童館勤務となり、計8人体制で指導する。

利用時間は、「放課後児童クラブガイドライン」により運営し、今年度は8時30分の開所を予定している。



議員

ゆき之

まさ雅

た田

つき槻

一般質問

1 ロケテ

放課後児童クラブ

ガイドラインとは

「放課後児童クラブ」を「生活の場」としている児童の健全育成を図り、質の向上を目的としている。長期休業期間などは保護者の就業実態をふまえて8時間以上開所すると規定。



夏休みも万全（もみじヶ丘児童館）

本人通知制度の導入を

町長 国・県の動向を見極めて



伊藤 まさる 議員

議員 戸籍謄本や住民票の写しを第三者に交付した際に、自治体が本人に通知する「本人通知制度」の導入が各自治体で進んでいる。この制度は戸籍謄本などの不正請求や不正取得による個人の権利侵害の防止を図るものである。本町でも取り入れては。

町長 取り組みを行っている自治体は、「事前登録型本人通知」であり、事前に市町村に登録した者に限り、通知する。

制度導入の目的は戸籍法や住民基本台帳法の改正により第三者が取得する戸籍謄本、住民票の写しなどの不正取得が後を絶たないため、不正取得を抑制する新たな方策として講じられて

いる。
国、県の動向を見極めて、メリット、デメリットの情報を収集し、制度導入の推移を見守る。

高齢者を守るキーホルダー

町長 関係機関と連携強化を

議員 熊本県人吉市が65歳以上の高齢者に、記載番号から即座に身元を割り出せる「ひとよしSOSキーホルダー」を配布している。

キーホルダーのケースに市役所の電話番号を記入した紙片を入れてバックや杖などに装着しておけば、道

に迷ったり、事故に遭ったりした時に発見者が市役所に連絡、身元が判明する仕組みだ。高齢者が住みやすい環境づくりに取り入れては。

町長 お年寄りを事件事故などから守るために、町、大和警察署、仙台保健事務

所、黒川消防本部が連携し、発見保護に努めるSOSネットワークシステムが整備されている。高齢者の安全を見守るために関係機関と連携を強化し、地域全体で支えたい。



連携強化



頼れる行政機関

仮称・南部コミセン設置を

町長 複合施設として検討する

議員 平成24年3月定例会で「杜の丘地区内への公民館並びに防災センタ建設に関する請願書」が採択された。その後の取り組み状況と要望・要請に應える複合施設はどのように考えているのか。

町長 地区の全世帯およびサークルなどを対象にアンケートを実施し、その意向を踏まえ保育所・児童館、防災拠点、コミュニティ活動の場など複合的な施設の整備を検討していく。
議員 保育所・児童館の不足への対応は。

町長 当面プレハブでの増設を行うが、今後も増加していくと予想されるため新保育所の設置は、民設民営方式を基本に早急な対応を図っていく。

議員 一般財源の軽減を図り実現するためには、国などの補助事業の活用を図る必要があると考えるが、調査費の予算措置を講じ具体化に向け対応すべきでは。
町長 基本計画（案）策定の業務委託料、測量費用などの関係予算を本定例会で補正予算として計上した。

いじめ問題などの対応方策は 教育長 人間関係づくりが大切



むかし遊びで心にゆとりを

議員 単純な暴力だけでなく、物を隠す、無視など「心

に對するいじめ」もあり、水面下で行われることもある。教師や周囲が気づかないうちに重大な局面に追い込むなど深刻な事態になりうる。表に出る「いじめ問題」は氷山の一角とも言えると思うが、現状は。
教育長 平成24年度中に数件報告されているが、解決している。

議員 いじめ問題への対応策は。

教育長 各学校で定期的にアンケート調査を行い早期発見・早期対応に努めている。調査結果は、各学校と共有し指導のあり方など共に考えるよう取り組んでいる。

議員 短時間で、個人と集団の両面を把握でき、結果がわかりやすく、児童生徒の変化に反応するという

「Q-U（学級診断尺度調査）」を導入した学級・学校づくりについて取り組んでいる。

教育長 Q-Uによる学級経営も効果的な手法の一つと考える。これまで取り組んできた手法との比較や併用の可能性も含め研究し、これまで以上に学級づくり、人間関係づくりに意を用いた指導に努める。



議員 行 善 野 今

武道館周辺に駐車場を

町長 新たな確保はきびしい



まつ 松 議員
うら 浦
たか 隆
お 夫

一般質問

議員 今年4月、役場跡地に「大和すぎのこ保育園」がオープンした。また、隣接する消防団の消防自動車の車庫が整備された。吉岡コミュニティセンタおよび武道館周辺の駐車場が少なく、無断駐車や路上駐車が散見される。駐車場として確保している場所と駐車台数は。また、武道館利用者の駐車状況と送迎状況は。

町長 町関係職員の駐車場は、旧大和保育所と武道館西側駐車場を使用している。また、吉岡コミュニティセンタ南側駐車場には、消防団と調整を図りながら駐車場スペースの確保を予定している。

武道館関係者は、日曜日

を除き毎日使用しており、昨年の延べ利用者数は1万340人となっており、武道館西側の駐車場を利用している。

議員 周辺に駐車場確保の計画は。

町長 周辺の土地利用状況から検討すると新たな駐車場の確保は厳しい状況である。まほろばホールに327台、町民研修センターに95台の駐車スペースがあり、大きな催しの場合はこちらを利用していただきたい。



駐車は武道館の西側に

県外自治体と連携の強化を

町長 今後の検討課題

議員 首都圏直下地震や南

海トラフ巨大地震などの発生予測とあいまって、国や各都道府県の自治体では、自治体同士の相互支援体制の確立など、新たな防災対策が研究・検討されている。自治体間の広域的な連携体制をどのように準備強化していくのか。

町長 協定を県内2市6町1村で締結している。以前、県外12市町村と締結していたが、平成の大合併で自然消滅した。現在県外自治体と協定は結んでいない。

今回の震災では、鹿児島

県大和村と神奈川県大和市からいち早く義援金や支援を受けている。県外自治体への支援が出てきた場合、国や県と連携して行動することになる。

議員 先進自治体は相互支援協定を進めてきている。

巨大災害時、県内の自治体の応援協定は被害自治体同士となり有効性が期待できない。遠隔地の自治体との協定が有効と思われる。仮に西日本で大震災が発生した場合、直ちに応援に駆け

つけないければならないが、

そのためには、具体的な自治体との協定締結と交流による職員のスキルアップが必要ではないか。

町長 具体的な自治体との協定はその選定が難しい。

しかし、連携を深めていくことは大事なことであるので、今後の課題として検討していきたい。



議員 雄 良 辺 渡 わた



3.11 災害支援（女川町）

コストの削減に民間活用を

町長 広告収入の確保を一層進める



たか へい とし お 雄 議員

議員 広報予算を民間企業との連携で削減することが不十分だ。広告代理店を活用し企画制作、スポンサー獲得を委託し税投入なしで町民が求める広報誌作成を実現すべきだ。

広報誌は月刊誌と年2回の特集を発行している。決算で指摘された課題を翌年度の予算にどのように反映したかはとても重要である。決算特集とともに予算説明書の特集が必要と考える。民間協働による町費負担ゼロの特集号を作成すべきでは。

町長 昨年の広告収入は49万2000円で、歳入確保を一層進めていく。予算書の特集は行っていないが月刊誌で6月号と12

一般質問

月号で町民へ周知するとともに区長会や納税組合長研修会などでも説明している。なお提案の企業広告を活用しての発行は、今後研究していく。

無線ネットワークの構築を

町長 セキュリティに課題あり

議員 タブレット型端末は今後の行政サービスに必要であり、教育、福祉、医療、災害デマンド交通などすでに多くの自治体で実用化されている。職員用端末の入れ替え、防災無線のデジタル化にあわせ、タブレット端末の導入、災害防災ポータルサイトの構築、無線ネットワークを整備してはどうか。

町長 タブレット型端末は、教育を始め多様な相互伝達手段として利用できる可能性があるが、置き忘れ、情報漏えいなどに対する対策が課題である。Wi-Fiスポットの構築は石巻市で全国初のシステムが7月に稼働予定であり、色麻町で導入したWiMAXと比較し、先進事例を研究していく。



先進例

10Xモ

タブレット型端末とは

液晶画面にタッチパネルを搭載し、指で操作する携帯情報端末の総称。

Wi-Fiとは

無線でネットワークに接続する技術のこと。



メデイカルメガバンク対応は

町長 医学の進歩を願う

議員 メデイカルメガバン

クは七ヶ浜町で遺伝子情報提供を求める活動を開始した。遺伝子研究にかかわる法制度が未整備のもとでは情報の提供をすべきではない。

町長 メデイカルメガバン

ク機構が目指す未来型医療は、宮城県震災復興計画にも記載されている。取り組む主な事業は、①医療情報とゲノム情報（ひとり一人の体質）を組み合わせた複合バイオバンクの構築、②地域医療支援体制の構築、③高度専門人材の育成に分

けられ、10年に及ぶ事業期間が計画されている。

さまざまな課題が克服され、医学が進歩することを願っている。

米軍演習の安全対策は 町長 防衛省と緊密に

議員 王城寺原での演習は

沖縄の負担軽減になっているか。

町長 防衛に関する問題は

国が担っており、本町はその推移を見守る立場にある。米軍移転訓練が安全に実施できるよう協力体制をつくることである。

議員 演習の中身をチェツクする体制は。

町長 訓練の内容を直接チェツクできる体制はない。

防衛省と連絡を緊密にし、住民の安全確保に必要な情報はその都度公開を求める。

議員 演習による山火事の防止体制は。

町長 宮城県および地元3

町村で構成する王城寺原演習場対策協議会で、演習場内の出火対策の申し入れを行い、日米間での消火体制の確認と関係機関への速やかな連絡体制について回答があった。



安全対策の強化を



議員 史博 卷 藤

教育委員会制度の現状は

教育長 合議制で運営している



まつ かわ とし みつ
松 川 利 充 議員

議員 教育委員会のあり方に対する関心が高まっている。教育委員会制度の現状は。

教育長 教育委員会は、教育基本法の趣旨にのっとり、設置されている。教育委員会（5人の委員）は合議制であり、委員長は委員会を代表し、教育長は委員会の指揮監督のもとに事務をつかさどり、委任された事務を処理することである。

議員 いじめなどの実態と対策は。

教育長 いじめの報告はない。体罰は4件で、すべて解決済みである。未然防止を最大の努力点とする。

議員 学力・体力および教育方針は。

教育長 体力は、2012年度県内で中学2年生男子が23位、女子27位、小学5年生男子が41位、女子32位。県の分析結果を確認して学校の取組状況を見ながら検討していく。

学力では、一つの小学校では全ての教科で全国平均を超えていた。次第に学力が上がってきている。中学校では全国平均に及ばず、更なる努力をしていく。

教育方針は、やさしさとたくましさを備え、生きる力を育む教育の推進。活力と学びと心のふれあう環境づくり。伝統文化の継承と芸術文化の創造。感動と躍進するスポーツの展開を重点に、学校・家庭・地域が一体となった学習の充実に努める。心の教育を大切にしたい取り組みをしていく。



宮床中学校での体験入学

大規模災害の応援協定を進めよ

町長 積極的に取り組んでいく

議員 3・11の東日本大震災以来、多くの市町村では

県外の自治体と大規模災害時に物資提供や職員派遣などを行う相互応援協定を結んでいる。

本町でも大震災の経験を教訓に他県の市町村や大手スーパーなどの災害協定を結ぶべきでは。

町長 県内町村との応援協定はあるが、他県との応援協定は結んでいない。現在、山形県村山総合支庁と仙台地方振興事務所管内の28市町村で構成する「仙山交流連携促進会議」で防災面で

の連携強化が進められており、積極的に取り組んでいく。

昨年度は郡内の要援護施設との協定をはじめ、ダンボール製造のレンゴー株式会社と協定を締結している。今年度は黒川郡4町村とJ Aあさひなどの間で物資の供給協力に関する災害協定を締結し、災害時に食料・燃料・生活用品などの物資調達を行うことになる。

また、町内にはヨークベニマル・ヤマザワ・西友などの大手スーパーをはじめ多くの企業が進出している。

このような企業との災害協定にも積極的に取り組んでいく。



議員 志 高 渡 平



大手スーパーとの協定を…

単位：円

党派名	議員名	支出総額	収入内訳	
			交付額	負担額
公明党 (1人)	伊藤 勝	60,519	60,000	519
日本共産党 (1人)	藤巻 博史	182,115	60,000	122,115
無所属 (15人)	今野 善行	110,380	60,000	50,380
	浅野 俊彦	72,760	60,000	12,760
	千坂 裕春	77,037	60,000	17,037
	渡辺 良雄	72,760	60,000	12,760
	松浦 隆夫	62,978	60,000	2,978
	門間 浩宇	41,289	60,000	-18,711
	槻田 雅之	72,760	60,000	12,760
	松川 利充	147,971	60,000	87,971
	平渡 高志	62,819	60,000	2,819
	堀籠 英雄	60,008	60,000	8
	高平 聡雄	211,348	60,000	151,348
	馬場 久雄	61,973	60,000	1,973
	中川 久男	72,760	60,000	12,760
	大崎 勝治	72,760	60,000	12,760
	堀籠日出子	97,760	60,000	37,760
合計 (17人)		1,539,997	1,020,000	519,997

報告

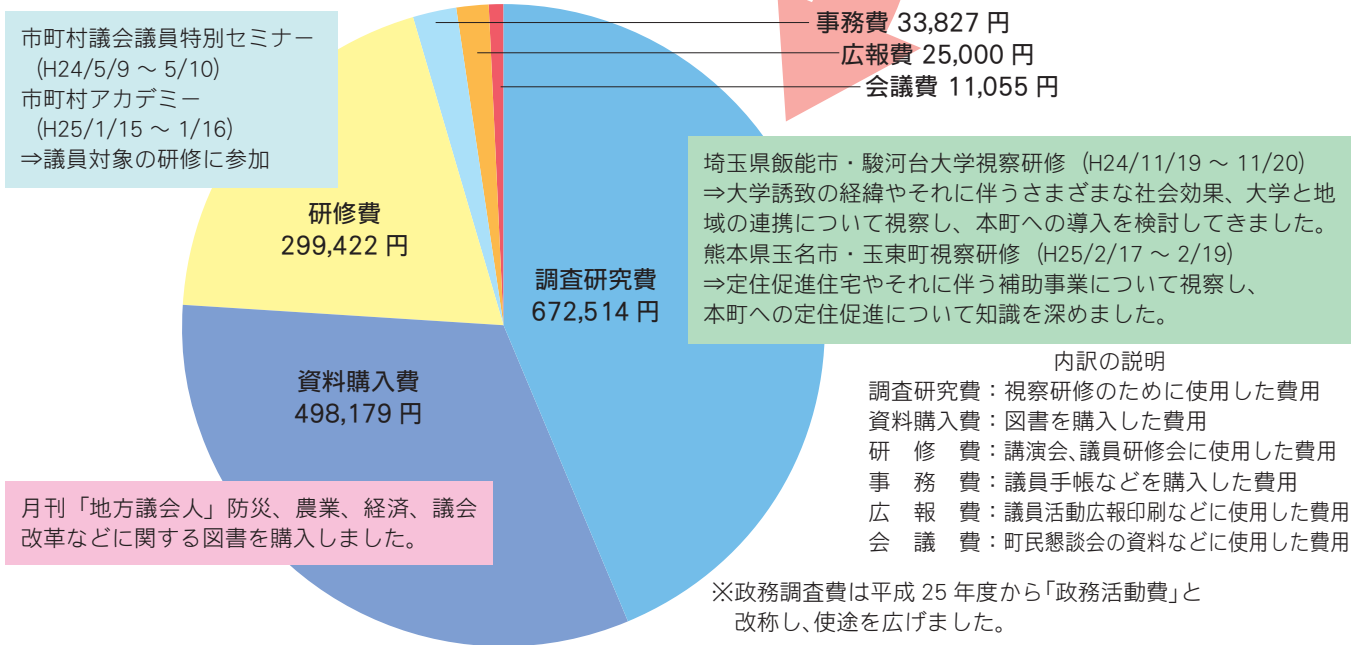
政務調査費の使い方

政務調査費は、町政に関する必要な調査研究のために、議員1人当り月額5000円が町から交付されています。平成24年度に交付された政務調査費収支報告書の概要をお知らせします。※全議員中1人の議員が交付を辞退していますので17人の交付となりました。

町から交付を受けた政務調査費の支出総額は

1,001,289円です。

(交付額 1,020,000円から返還額 18,711円を差し引いた金額)



平成25年度の会派・党派

会派名・党派名	代表者名	氏名		
鷹山会	平渡 高志	千坂 裕春	門間 浩宇	堀籠 英雄
公明党	伊藤 勝			
日本共産党	藤巻 博史			

政治上の主義・主張を同じくする人々が結成したグループを会派といいます。上記に氏名のない議員は無所属となります。

■議会の動き■

月 日	内 容
5.1	たいわ町議会だより 176号発行
5.8	議会活性化調査特別委員会 ▶ 議会基本条例の策定
5.15	視察研修受入対応 (P21 関連記事)
5.21 ~ 22	広報常任委員会視察研修 (P21 関連記事)
5.27	総務常任委員会
5.29	議会活性化調査特別委員会 ▶ 議会基本条例の策定
5.31	社会文教常任委員会
5.31	産業建設常任委員会
6.4	議会運営委員会
6.11	6月定例会 (一般質問 7人)
6.12	6月定例会 (一般質問 5人、議案説明) 全員協議会
6.14	6月定例会 (議案審議) 全員協議会 ▶ 議員報酬のあり方 議会活性化調査特別委員会 ▶ 議会基本条例の中間報告 企業立地調査特別委員会 ▶ 町内企業視察 (7/9の件)
6.24	広報常任委員会 (議会広報紙面作成)
6.26 ~ 28	社会文教常任委員会視察研修 ▶ 鳥取県南部町・島根県邑南町
7.2	広報常任委員会 (議会広報紙面作成)
7.3	産業建設常任委員会町内管理施設視察
7.8	広報常任委員会 (議会広報紙面校正)
7.9	町内企業視察 (P20 関連記事)
7.10 ~ 12	産業建設常任委員会視察研修 ▶ 北海道上富良野町・池田町
7.16	広報常任委員会 (議会広報紙面再校正)
7.17 ~ 19	総務常任委員会視察研修 ▶ 広島県北広島町・岡山県矢掛町
7.24	県町村議会議員講座 (総務常任委員会)
7.25	県町村議会議員講座 (社会文教常任委員会)
7.26	県町村議会議員講座 (産業建設常任委員会)

追跡取材

なじよになったの？ あの提言は



議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

いまだに進まず

子育て支援住宅を造っては？

①議員 (H21年9月議会)

宮床・吉田・鶴巣・落合の少子化対策は。



町長

新規の住宅団地開発は難しい。人口増加の期待は出来ないが、地域への愛着をやはり流出を防ぐ。

②議員 (H21年12月議会)

若者の定住を進めるため子育て支援住宅を造っては。



町長

子どもたちが地域で成長しそのまますみ続ける住環境・子育て整備に取り組む。

③議員 (H22年9月議会)

減少しつつある地区の人口増をはかるため、定住促進住宅を。



町長

歯止めとして有効な手段。

④議員 (H24年6月議会)

小学校が統廃合にならないよう過疎化対策に取り組め。
子育て支援住宅事業により従来地域の活性化を急げ。



町長

子育て医療費助成事業で若者の定住化に取り組む。
実施事例や効果を調査研究している。

⑤議員 (平成25年3月議会)

児童数減少への対策は。
新住民定住化対策の調査・研究の状況は。
子育て支援住宅事業を早急に実行すべきでは。



町長

維持するため転出抑制に努める。
近隣町村を研究、本町にあった制度の研究を進め、具体化に向け検討していく。

早期対応を!!

視察 Report

町内立地企業

2社視察

7月9日(火)に企業立地調査特別委員会で町内に立地している2社を視察をしました。



トヨタ自動車東日本(株)宮城大和第3工場

【場所】松坂平6丁目地内【生産品目】トヨタアクア用1500ccエンジン

【面積】324,859㎡【建築面積】8,058㎡【延べ面積】8,674㎡

【構造】鉄骨一部2階【従業員】80人(宮城大和工場全体522人)

【製造開始】平成24年12月14日

■概要

トヨタ自動車東日本は、2012年7月に関東自動車工業・セントラル自動車・トヨタ自動車東北の3社を統合して誕生したトヨタグループのコンパクトカー専門の製造会社である。

トヨタ自動車東日本は、地域に根ざした組織を目指し、小中学生などを対象にした「発明クラブ」を実施することでモチベーションを高める。

また、環境と調和ある成長も目指し、環境に配慮した経営を重要課題とし、植樹を行うなどの環境保全活動を推進している。

所感

本町が誘致し、立地している企業の調査研究のため、世界を代表する2社の製造現場を全議員で、初めて視察することができた。

無駄や無理な動きが少ない製造姿勢や環境への取り組みが優れており大変意味深いものを感じた。今後、町と企業と住民が協働したまちづくりを推進したい。

報告者 企業立地調査特別委員会
委員長 堀籠 英雄



東京エレクトロン宮城(株)

【場所】テクノヒルズ1番【生産品目】半導体製造装置

【面積】290,569㎡【建築面積】53,736㎡【延べ面積】68,172㎡

【構造】RC造、S造、地上3階【従業員】1,120人

【製造開始】平成23年10月1日

■概要

東京エレクトロン宮城株式会社は、世界の半導体産業を支える半導体製造装置メーカーである。

東京エレクトロン宮城は環境に配慮した事業活動を促進し、環境保全に資することを目的に宮城県と大和町との間で、「環境配慮基本協定」を締結している。具体的な取り組みとして、1000キロワットの太陽光発電システム導入、自然換気を行い、空調エネルギー抑制などを行っている。

研修 Report 議会広報常任委員会



【視察地】鳥取県大山町 【視察月日】平成25年5月21～22日
 【視察者】伊藤勝委員長、藤巻博史副委員長、今野善行委員
 門間浩宇委員、千坂裕春委員、浅野俊彦委員
 【視察目的】よりよい議会だより作成のため、第27回町村議会広報全国コンクール「特別優秀賞」(全国2位)を受賞している議会広報先進地を視察し、作成技術を学びました。

●大山町の概要

大山町は鳥取県西部に位置し、北は日本海、南は秀峰大山と山と海の双方に恵まれた自然豊かな町である。平成17年に3町が合併し、大山町として誕生し、現在の人口は1万7600人である。

●優れている点

- ▼35日の短期間で発行。
- ▼6月や12月に特集を企画し、記事に「町民の声」を多く取り入れている。
- ▼表紙には季節感だけでなく多くの人や動きのあるものを使用。
- ▼広報紙のみならず、ホームページやケーブルテレビを活用し、さまざまな広報活動に取り組んでいる。

【所感】

言葉づかいに留意し、写真・スペースを入れながら、読みやすく読者が興味を持ってくれるよう企画・編集をしている。表紙の写真の使い方、特集記事などは特筆すべきものがあり、本町としても参考にしたい。

報告者 門間浩宇委員

たいわ町議会だより

視察のため来庁!

よりよい議会広報づくりのために活発な意見交換

5月15日、山梨県町村議会議員で構成される山梨県町村議会広報研究協議会(広報編集委員長ら19人)が、本町の議会だよりの作成方法などを視察するため来庁しました。議会広報をはじめ、議会活性化に関することなどを含めた内容で活発な意見交換を行い、有意義な研修となりました。



特別褒賞を受賞

長年にわたり住民に読みやすく親しまれる議会広報誌面づくりに取り組んだとして、宮城県町村議会議長会から認められ特別褒賞をいただきました。今後も正確でわかりやすい広報誌づくりに努めていきたいと思っております。



◆◆人 事◆◆

宮城黒川地方町村議会議長会 会長に再任



大和町議会議長の大須賀啓氏が宮城黒川地方町村議会議長会会長(任期:平成25年6月～平成26年6月)に再任されました。

大和中学校 3年
門間 智大くん



大好き!!

大和町

宮床中学校 2年
佐々木 杏奈さん



充実している大和町

僕の大和町の好きなところは自然が豊かなところ、工業が発展しているところ、地域性などが良いところですよ。

大和町は、七ツ森や吉田川など自然がすごく豊かで、空気もきれいです。工業ではトヨタ自動車日本など工業も充実しています。その他、消防署、陸上自衛隊大和駐屯地など黒川郡の大事

な公共施設があり、すばらしいことばかりです。



私の好きな大和町

私たちの住んでいる大和町はとても美しい町です。豊かな緑は町に美しい空気と安らぎを与え、遠くには七ツ森がそびえ立ち、それぞれの季節に応じた自然の情景が変わり、私たちを楽しませてくれます。

工業化が進む一方で、大和町は農作物にも恵まれ、農家の方々が汗を流して一生懸命育てたトマトなどの野菜や種類様々

なキノコ、イワナなどを給食でおいしくいただいています。

私たちはそんな自然豊かで住みやすい大和町が大好きです。これらの大和町の良い所を広く多くの人に知ってもらい、この町がさらに活気あふれる町になればいいなと思います。そのためにできることを、私も大和町民として日頃からよく考えていきたいです。

今回の表紙は

6月9日(土)総合運動公園で大和町消防団夏季演習が行われ、女性消防隊が操法を披露しました。女性消防隊は県代表として10月17日の全国女性消防操法大会に出場します。



編集後記

一味同心

昨年の改選から、今回が6冊目の編集作業となりました。

これまで3回の先進地視察研修を経験し、どのようにして町民の皆様、そして次回も読んでみようと思っ頂けるかを考え、編集にあたる事が重要であると思えます。そのため、編集委員一丸となって日々活動しています。

より多くの町民の皆さまに本誌を読んで頂く事により、議会、議員活動、そして町政に興味を持って頂けるよう、努力していきます。

広報編集委員 浅野 俊彦

議会を傍聴してみませんか?

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。1階の町民ホールでも視聴できます。

次回定例会は
9月3日(火)から
9月17日(火)までの予定です。

大和町議会事務局
☎ 022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者
議長 大須賀 啓
編集委員
委員長 伊藤 勝
副委員長 藤巻 博史
委員 長 今野 善行
委員 門間 浩宇
委員 千坂 裕春
委員 浅野 俊彦

